いばらき

単う連だま

IBARAKI Prefecture Silver Human Resources Center Federation



毎年冬になると飛来する白鳥になります。 那珂市古徳沼とともに有名になっています。

場 所:一の関親水公園ため池 撮影者:(公社) 那珂市シルバー人材センター

加藤裕一さん









女性役員による 会員拡大推進大会

茨城県知事挨拶•茨城労働局長挨拶····3
特集「令和5年度女性役員による会員拡大推進大会」・・・4
シルバー会員の声・・・・・・・・・・9
センター訪問・・・・・・・・ 10
就業活動レポート・・・・・・・12
わくわくシルバーフェスティバル・・・・・・ 14
安全就業推進について・・・・・・ 15
第14回チャリティゴルフ大会開催協賛金 ・・・・・ 16

連合会会長挨拶 · · · · · · 2

公益社団法人 茨城県シルバー人材センター連合会



公益社団法人 茨城県シルバー人材センター連合会

会長 綿 抜 岡川

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、ご家族お揃いで健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昨年中は当連合会の業務運営に対しまして、多岐に亘るご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。 令和2年から続いてきた新型コロナウイルス感染症も昨年5月に季節性インフルエンザと同様な扱いになる など、社会経済全般にわたり日常が戻ってきています。しかしながら、その間にシルバー人材センター事業は 会員や契約額が減少するなど大きな影響を受けました。現在では契約額はやや持ち直しているものの会員数 は下げ止まらず厳しい状況が続いており、当面、これをコロナ前の水準に回復させることを目指して全力で取 り組むことが必要です。特に、会員拡大への取組は喫緊の課題であり、中でも女性会員の拡大と活躍を進め ていくことは大変重要です。このため、引き続き女性役員並びにブロック毎のシルバー人材センターの女性役 員によるプロジェクトチームを中心に、拠点シルバー人材センターと連携し女性会員拡大に向けた取り組みを、 積極的に進めてまいります。

また昨年10月からはインボイス制度が施行されており、シルバー人材センターの運営への影響をできるだけ 少なくするため、引き続き対応を進めてまいります。

さらに、フリーランス法の施行に向けた「契約方法の見直し」やデジタル社会の到来を念頭に置いた、シルバー 事業へのデジタル技術の積極的な導入などの多くの課題について、拠点シルバー人材センターへ支援してま いります。

今、我が国は65歳以上が総人口の29.1%(令和5年概算値)、本県においては30.8%を占め、総人口が減少 する中で、高齢者人口は過去最多となっております。このような超高齢社会を支える組織として、シルバー 人材センターの役割は一層大きなものとなってきていることを強く認識し、今後とも地域社会の福祉と活性化 に貢献する、魅力あるシルバー人材センターとして充実発展するよう努めてまいりますので、引き続きご支援、 ご協力賜りますようお願い申し上げます。

結びに、各シルバー人材センターの益々の発展と、会員、役職員の皆様方におかれましては健康に十分留 意され、安全で明るい年になりますよう心から祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

公益社団法人 茨城県シルバー人材センター連合会 役員名簿

綿抜 長 会 加倉井健一 副会長 副会長 塚本 將男 常務理事 長山 優 理 石田 正雄 事 鈴木 博之 理 事 理 事 前田 浩 今橋 理 事 徹也 孝子 針尾 事 理 松本 康雄 理 事 理 事 長 行雄 大山百合子 理 事 雅裕 監 事 井上 根箝 博 事

任期:令和4年6月17日から令和6年度定時総会終了時まで (公社)茨城県シルバー人材センター連合会 (公社)水戸市シルバー人材センター (公社)龍ケ崎市シルバー人材センター (公社)茨城県シルバー人材センター連合会 (公社)行方市シルバー人材センター (公社)大洗町シルバー人材センター (公社)土浦市シルバー人材センター (公社)日立市シルバー人材センター (公社)鹿嶋市シルバー人材センター (公社)阿見町シルバー人材センター (公社)常総市シルバー人材センター (公社)東海村シルバー人材センター 公認会計士·税理士

(公社)ひたちなか市シルバー人材センター

新年のごあいさつ



大井川 和彦

新年あけましておめでとうございます。

シルバー人材センターの皆様方におかれましては、日頃から高齢者の就業 機会の確保・提供にご尽力いただいておりますことに、心より敬意を表しま す。

さて、本県は65歳以上の方の割合が3割を超え、本格的な超高齢社会を迎えております。生産年齢人口が急激に減少する中、働く意欲のある高齢者の皆様に、これまでの知識や経験を活かしながらご活躍いただくことは大変重要であり、高齢者の就業機会を確保し、生涯現役で社会参加の促進を図るシルバー人材センターへの期待も益々大きくなってきております。

県といたしましても、こうした社会の変化に素早く対応するため、貴連合会をはじめとする関係機関と連携し、各地域における高齢者の就業ニーズ等が見込まれる業務について派遣時間を拡大するとともに、シルバー人材センターの活動を周知・広報するなど、高齢者の就業機会の確保に努めております。こうした取組を通じ、引き続き、皆様方とともに、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に全力で取り組んでまいりますので、なお一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、公益社団法人茨城県シルバー人材センター連合会の益々のご発展と、皆様にとりまして、本年が実り多き素晴らしい一年となりますことをお祈りしまして、新年のあいさつといたします。



厚生労働省茨城労働局長 澤口 浩司

新年あけましておめでとうございます。

シルバー人材センターの会員並びに関係者の皆様におかれましては、健や かに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から茨城労働局の業務運営につきまして、ご理解とご協力を賜り、高年齢者の就業促進に向けた事業にお取り組みいただき、心より感謝申し上げます。

さて、人生100年時代を迎え、働く意欲のある高年齢者がその能力を十分に発揮し活躍することができる環境の整備を図ることが重要な課題となっています。人口の高齢化が進み、労働力人口が減少する中で、労働力を確保し、経済活力を維持する観点からも重要です。

シルバー人材センター事業は、性別を問わず地域高年齢者の多様な就業機会を確保し高年齢者が生涯現役で社会参加していくために、さらには人手不足分野等において、高年齢者が活躍できる環境を整えるという点から、今後、益々重要な役割を担われるものと確信しております。

茨城労働局といたしましても、シルバー人材センターの皆様と連携し、高 年齢者の活躍の場を広げていく所存でおりますので、今後とも変わらぬお力 添えをいただけますようよろしくお願いいたします。

結びに、シルバー人材センターの益々のご発展と皆様のご健勝を祈念申し 上げて、新年のご挨拶といたします。

令和5年度女性役員による会員拡大推進大会

女性会員拡大のために シルバーの魅力を創出する

令和5年度女性役員による会員拡大推進大会が、11 月7日に水戸市内にあるセキショウ・ウェルビーイン グ福祉会館(茨城県総合福祉会館)で開催されました。 現在、シルバー人材センターでは、全国的に会員 数の減少が大きな課題となっています。

茨城県でも、SCの会員数は平成21年度の19,563人をピークに減少が続き、さらにコロナ禍の影響により退会される会員も少なくありませんでした。コロナ禍以前の会員数を取り戻すためには、役職員の努力だけでなく、会員一人ひとりに理解していただき、組織が一丸となった取り組みが必要です。

女性会員の拡大をテーマにした今大会の開催挨拶の中で、茨城県SC連合会の綿抜剛会長は「女性会員数の拡大が、全体の会員数拡大につながるものと考えています。この大会はSCの会員全体で、女性会員数の拡大について考え取り組んでいただくことが主旨。どうぞ、本日の大会の中から多くのヒントを掴んでいただき、今後の活動の一助にしていただきたいと思います」と、語りました。



綿抜会長挨拶

引き続き行われたのは、茨城県SC連合会・常務理 事兼事務局長の長山優氏による「女性役員等による 会員拡大意見交換会」の報告です。この意見交換会 は令和5年9月に二つのブロックに分け行われたも の。どちらも熱心な熱心な話し合いが行われ、とて も有意義な会合となりました。(詳細は別欄に記載)

そして、本大会のメインでもある先進事例の発表です。今回は埼玉県の鶴ヶ島市SCから理事で女性委員会委員長でもある駒形農子(こまがた あきこ)氏をお招きし「女性委員会の意欲的な取り組みについて〜会員増加日本一(会員数1000人未満SC/令

和3年度実績)」をテーマに発表していただきました。



意見交換会報告

駒形氏は平成24年に鶴ヶ島市SCに入会し、家事 支援業務、就業相談員などの業務に従事。そして平 成27年、理事兼女性委員会委員長に就任し、現在に 至っています。

先進事例発表では、鶴ヶ島市SCが行う女性会員の入会促進への取り組みとして「健康寿命について考える女性セミナー」や、女性会員の交流を深める「女性会員の『つどい』」、また、女性会員による就業体験談などを交えた「女性のための入会説明会」などの開催を発表。さらに会員の生き生きとした生活を支援する「フレイル予防教室」の開講などを紹介していただきました。



鶴ヶ島市SC 駒形氏による先進事例発表

駒形氏は「様々な取り組みを行っていますが、まだまだこれからです。女性会員の増加にこれといった特効薬はありませんが、女性もきっかけがあればもう一度社会に出てみたい、何かしてみたいと思っている方はたくさんいるはずです。そのきっかけづくりができれば、女性会員の増加につながると思います。そしてSCの会員で良かった思っていただけるように、これからも日々、魅力的なSCになるように考えながら、小さな積み重ねを続けて行こうと思っています」と、地道な努力を続けることの大切さを語っていました。



質疑·意見交換



発表の後に行われたのは、駒形氏及び藤倉氏(鶴ヶ島市SC職員)と茨城県SC連合会会員拡大推進プロジェクトメンバーとの意見交換会です。駒形氏の発表に触発されたメンバーは、発表での事例についてさらに詳しい説明を求めるなど積極的に発言。鶴ヶ島市の取り組みを実現するためにはどのような工夫があったのかなど、茨城県の実情と照らし合わせた意見を求める質問が飛び交いました。

最後にセキショウ・ウェルビーイング福祉会館のギャラリーに出展した展示作品の紹介が行われました。今回は8カ所のセンターから出展いただき、作品の作成過程や現場の雰囲気などを紹介していただきました。(詳細は別欄に記載)

あいにく悪天候でしたが、足を運んでくださった 皆様には、本当に感謝です。その分、実り大きな大 会になったのではないかと思っています。引き続き 皆様のご協力をお願いいたします。

製作した作品をギャラリーに展示

大会当日に、会場のギャラリーで作品展示が行われました。多くのシルバー人材センター(SC)では、女性会員などが主体となり、手芸サークル等が活動しています。今回出展したのは、水戸市、ひたちなか市、東海村、日立市、神栖市、龍ケ崎市、鹿嶋市の7カ所のSCです。大会中に行われたギャラリー展示の紹介では、各サークルの代表がステージに登壇。日頃の活動を発表しました。それぞれ特色のある活動を行っていますが、口を揃えて語っていたのはサークルの楽しさ。仲間が集まってお喋りすることが何よりも楽しみとのことでした。



水戸市



ひたちなか市



東海村



日立市



神栖市



龍ケ崎市



鹿嶋市

女性役員等による会員拡大意見交換会の開催

シルバー人材センター (SC) の女性役員・会員及び事務局職員の方たちを交えて、「女性会員が馴染みやすい、意欲が高まるような仕事について」・「会員拡大 (特に女性会員) に有効な取組みについて」の2つのテーマで、意見交換会をしました。

9 / 15に県南・県西ブロック(14SCから49名参加)と 9 / 29に県北・鹿行ブロック(11SCから33名参加)の 2 か所で実施し、熱心な話し合いが行われました。

県南・県西ブロック会場

(阿見町総合保健福祉会館)



県北・鹿行ブロック会場

(セキショウ・ウェルビーイング福祉会館)



◎「女性会員が馴染みやすい仕事」についての主な意見等

- SCの仕事について、明るく楽しいイメージが必要。感謝されることでやりがいを感じる。飲食業などお客様との接客業務は希望者が多い。また、子育て支援・学童保育なども仕事の事例として挙げられた。 一方で、草取り作業など、屋外作業は好まれない傾向がある。
- 施設管理(受付)や短期間の軽作業(敬老記念品発送)などは好評。
- 女性会員の場合、就業場所へ行く移動手段(運転ができない)の問題がある。

◎「特に女性会員の拡大に有効な取組み」についての主な意見等

- 女性委員会等を設置し、手芸や小物づくりなどを通して、会員同士の交流が広がり退会者の抑制にもつながる。働くだけなく、楽しみも提供してイメージアップを図る。
- サークル活動(ウォーキングやゴルフ、カラオケ、写真など)やボランティア活動・市などのイベントへの参加も会員同士の交流に大切。
- 市の広報誌トップページにSC会員特集記事を掲載したことで、すぐに入会申し込みの反応があった。 また、役員や会員による口コミ(直接声をかける)を粘り強く継続して行うことが大切。「会員一人ひとりがセールスマン」のPR活動を実践。
- アロマ・ハーブやメイクアップ教室と組み合わせたセミナーを実施している。





大会に寄せて インタビュー

東海村シルバー人材センター副理事長 プロジェクトチームリーダー **大山 百合子**氏

鹿嶋市シルバー人材センター副理事長 プロジェクトチーム副リーダー **針尾 孝子**氏

女性会員が希望する仕事をどのように 獲得するのかに関心があります。



どこのシルバー人材センター (SC) も同じだと 思いますが、女性会員の減少は問題になっています。 私たち東海村SCでも女性会員拡大プロジェクトのよ うな形で力を入れていて、茨城県のモデルセンター となり女性会員の募集を行ってきました。しかし、 そこで問題になるのが、女性会員を拡大してもそれ に見合う仕事がないことです。これまでの除草、清 掃作業を希望する会員は少なく、事務的な業務を希 望する会員が多い。そこで女性会員からのアンケー トをもとに立ち上げたのが「喫茶ひととき」。東海 村が所有するビルの一角を借りて、お客様にコー ヒーなどを提供する事業です。実際、始めてみると 大変希望者が多く、仕事に就きたい方が殺到しまし た。ただ、希望する会員すべてが働くことは難しく、 就労期限を設けて、交代制にしなければなりません。 私たちが、今感じている課題は、会員を集めても希 望する仕事を提供することができないこと。選択肢 を多くしなくてはSCに対する期待に応えることはで きません。今回の大会でも先進事例の発表などがあ ります。そこから参考になることがあれば、ぜひ取 り入れたいです。発表されるSCの方も、私たちと共 通する悩みがあると思うので、会員と仕事のマッチ ングについてお話をお伺いしたいと思います。

他のセンターでの活動から情報を得て 女性会員獲得に役立てたいと思います。



シルバー人材センターが抱える大きな課題の一つ は、全体の会員数、特に女性会員の減少にあります。 減少傾向にある理由として上げられるのが、これま でのSCのイメージ。女性の仕事というと、清掃作 業や除草作業が連想されることだと思います。鹿 嶋市SCでは、市民の多目的活動を支援する「いき いきサロンひまわり」を運営し、そのスペースを活 用して女性会員が手づくりした手芸品等の販売など も行っていますが、それだけで十分とは言えません。 女性が活躍できる仕事を、もっと幅広く獲得しなけ ればならないと思っています。例えば、スーパーな ど小売店でのレジ打ちや商品の陳列作業など、屋内 の軽作業を委託事業として開拓する必要があります。 また、こういった課題をSC全体で共有し、様々な アイデアを出し合うことも必要なのではないでしょ うか。

本日開催される、この「女性役員による会員拡大推進大会」は、まさに、このような課題に斬り込む大会です。実際、SC会員の多くは、他のSCでどのような活動がされているのかを知らないという現状があります。参加した会員一人ひとりが、この大会で得た情報を持ち帰り、女性会員拡大の取り組みに活かしていただきたいと思います。

女性委員会を発足し、女性会員の獲得と 四退会抑制のため様々な取り組みを実施

公益社団法人 水戸市シルバー人材センター

水戸市シルバー人材センター(水戸市SC)に、女性委員 会が設立されました。目的は会員拡大、就業開拓など。特に、 女性会員の獲得と退会抑制のために、様々な取り組みを行う 予定です。

これまでも女性限定の入会説明会などを開催してきました が、中・長期的計画に基づくものではありませんでした。そ こで、女性委員会を立ち上げることで、実施するイベントを 体系的にまとめ、より効果的な取り組みを行おうというもの です。除草や清掃だけでなく、訪問介護や家事援助サービス



など女性ならではの仕事に力を入れ、講習会などで横のつながりを強化する。女性会員の獲得を図るために は、まず、水戸市SCの魅力を向上させることから始めようという考えです。

そこで令和5年12月5日に行われたのが「女性委員会フラワーアレンジメント講座」です。この講座は、 女性委員会の企画第一弾として実施されたもので、クリスマスやお正月のリースを作成しました。様々な講 習会を開催し仕事以外の楽しみを提供することは、横のつながりを強化し、退会抑制にもつながります。来 年度からは1年に2回程度、多彩な講習会開催する予定です。









◆女性委員会委員長 舟木 むつ子さん◆

茨城県の研修で他の市町村で女性委員会が活躍していることを聞いていたので、水戸市SCに女性委 員会が発足したことを大変嬉しく思っています。今後の活動に関しては、健康に関する講座、例えば体 操や食事、また美容に関する講座なども開催できればと考えています。健康と美しさを保つことは、女 性だけでなく多くの高齢者の生きがいです。水戸市SCの魅力向上のため、尽力していきたいと思います。

◆女性委員会会員 合田 泰子さん◆

女性委員会は立ち上がったばかりなので、これからが重要です。開催するイベント一つひとつの結果 を見て、どのように進めて行くかを考えなければなりません。いまは人生100年時代と言われています。 年齢にとらわれず、元気な方はお仕事に励んで楽しい人生を送るお手伝いができたらと思います。

◆女性委員会副委員長 初瀬 恵美子さん◆

年齢を重ねるごとに気になるのは、やはり体力の衰えです。健康を維持する講座などを通して、仕事 に対する意欲を継続していただくことを考えています。また横のつながりに関しては、水戸市SCには 互助会があり、先日も「芸能発表会」を開催しました。カラオケはもちろん、様々な出し物があり参加 した皆さんは満足されていた様子でした。これからも仕事以外にも楽しめる場を提供したいです。

仕事をする日を軸に 生活にリズムをつけてください!

一般社団法人 茨城町シルバー人材センター

檜山 和男さん (69歳)

1.0

入会したきっかけは?

65歳で退職し、特にやりたいこともなかったので 1年くらい何もせずに過ごしていました。仕事をし ようとも考えたのですが、ハローワークでは自分に 合った仕事が見つかりません。そんなとき、友人の 知人がシルバー人材センターで仕事を見つけたこと を知り相談に行ってみたんです。すると、興味のあ る仕事が見つかり入会を決めました。

現在、どんな仕事をしていますか?

JA全農いばらきが運営する直売所「ポケットファームどきどき」で、農産品の袋詰めや陳列などを行っています。お客様とのふれあいを含めて、とても楽しい仕事です。前職は機械のオペレーターだったので、人とのコミュニケーションはあまりありませんでした。でも私はもともと人とふれあうことが好きだったので、現役時代には味わえなかった仕事の楽しさを実感しています。

入会してご自身のなかで変化はありましたか?

仕事をすることで日々の暮らしに張り合いができたことはもちろんですが、職場で様々な人たちと出会えることも刺激になっています。「ポケットファームどきどき」には様々なセクションがあり、年齢も20歳代から70歳代以上まで幅広いスタッフが働いています。私も他の部署の手伝いに行くこともあり、仕事以外の会話を通して新しい知識などを得ることができます。若い方々と接することは、精神的に若さを保つことにもつながるのではないでしょうか。

読者にメッセージをお願いします。

定年退職すると毎日が自由になり、いつでもできるからと、やりたいことも後回しになってしまいがちです。仕事をする日を軸に生活にリズムをつけ、生き生きと毎日を過ごしてみてはいかがでしょうか。

俳句会会報誌の作成にパソコンの スキルを活かしています。

公益社団法人 稲敷市シルバー人材センター

ます。 -岸 孝幸さん (72歳)

入会したきっかけは?

退職して1年くらいは何もせずに過ごしていましたが、どうしても時間を持て余してしまうので何かやることはないか探していました。そんなとき目にしたのが地域の回覧で廻ってきた、稲敷市シルバー人材センターの会員募集広告でした。興味を惹かれて相談に行くと、面白そうな仕事があったので、すぐに入会を決めました。

現在、どんな仕事をしていますか?

現在は公民館の夜間受付業務と、江戸崎地区にある俳句会の会報に掲載する原稿の入力です。会報誌の入力はパソコンで行うのですが、現役時代にワードやエクセルなどのソフトを使っていたので、その経験を活かしています。しかし、俳句では難しい言葉が使用されるので苦労していることも事実ですね。蜻蛉(とんぼ)や蟷螂(かまきり)など漢字の変換はもちろんですが、草書体の文字を判読するのも大変です。

原稿は手書きで送られてくるのですか?

ほとんどが手書きです。句会の会員の中には90歳を超える方もいらっしゃるので、文字自体が簡単に読めるものではなく毎回苦労しています。ただ間違って入力してはいけないので、毎回、4、5回は校正しています。以前から俳句に興味はあったので、いろいろ勉強しながら取り組んでいます。入力は大変ですが、自分の知識が増えて行くことは楽しいこと。やりがいにも通じています。

今後の目標を教えてください。

パソコンを扱うことが好きなので、何かのデータベースを作成するよな仕事もしてみたいですね。シルバー人材センターというと、力仕事をイメージするかも知れませんが、それだけではありません。現役時代に身に付けたスキルを伝えれば、その技術を活かす仕事をセンターの方が探してくれます。一度、相談に来てみてはいかがでしょうか。



センター訪問

快適な地域生活をサポートする 「子育て支援ルームきずな」と「自転車部」

公益社団法人つくば市シルバー人材センター

- ■住所 〒300-3257 つくば市筑穂1-10-4
- ■TEL 029-879-5199 FAX 029-879-5198
- ■E-mail tsukuba.sjc@sunny.ocn.ne.jp
- ■業務時間 月曜日~金曜日 8:30~17:15
- ■最寄駅 つくばエクスプレスつくば駅よりバス15分

つくば市シルバー人材センターの会員数は、男性426名、女性219名、合計で645名。就業率は約72%です。様々な事業を行っていますが、その中でも特に注目されているのが「子育て支援ルームきずな」の運営です。平成26年の開設以来、お子様の一時預かり施設として地域の子育て支援を行っています。

「私が体調を崩し病院 に行くと、お子様を連れ た若いお母様がいらっ しゃいました。てっきり お子様の具合が悪いのか と声をかけると、お母様



の調子が悪いとのこと。私がお子様を見ているので診察を受けて来てくださいと言うと、大変喜ばれました」当時、センターの理事を務めていた小 倉武子さんのこんな体験が発足のきっかけ。現在





は施設長として、事業の運営を行っています。「素人が始めた事業なので、様々な苦労がありました。でも、子どもたちとふれあっていると、そんな苦労は吹き飛びます。もちろん、お預かりする以上、怪我や事故は絶対に起こさないことが基本です。お迎えに来たお母様に笑顔で帰っていただ。



くことが一番ですね」。 開設以来、怪我などの 事故はゼロ。地域から 信頼される理由の一つ です。「ご主人の仕事 の都合でつくばに転居



された方は、ご実家が遠く頼る人がいない場合も 少なくありません。そのような方々からは、つく ばの"ばーば"と呼ばれ親しまれています(笑)」 小倉さんの優しい笑顔が印象的でした。

そしてもう一つ見逃せない事業が、自転車部の活動です。自転車の修理、点検、整備、メンテナンス、そして販売まで行い「Gチャリ君」の愛称で、地域の人たちに親しまれています。

「筑波大学の学生の多くは、自転車を利用して通学しています。 そのため、卒業すると自転車は必要なくなってしまう。 そこで、その不要となっ



た自転車を修理・メンテナンスして新入生に販売しています」。自転車部の久保田明さんは、自転車メーカーに勤めていた技術者です。つくば市からの依頼で放置自転車を回収し、一般への販売も行っています。「安心・安全な自転車を、一台でも多く提供することが私たちの仕事。来春の新入生たちのために必要な台数は約70台なので、ひと月に最低でも10台の備蓄を目指しています」。生産性を上げることが現在の課題。新入生たちの笑顔を思い浮かべながら、自転車部は、現在、フル回転で操業しています。











環境美化と助け合いの精神を軸に 暮らしやすいまちづくりに貢献

公益社団法人 下妻地方広域シルバー人材センター

- ■住所 〒304-0064 下妻市本城町3-36-1
- TEL 0296-44-3198 FAX 0296-44-6897
- ■E-mail shimotsuma@sjc.ne.jp
- ■業務時間 月曜日~金曜日 8:30~17:15
- ■最寄駅 関東鉄道常総線下妻駅より徒歩10分

下妻地方広域シルバー人材センターは、下妻市と八千代町の一市一町を包括するセンターです。 当センターは県南西部に位置し、水と緑に囲まれた田園都市です。従来は農業を中心に発展してきましたが、工業団地の造成を機に、第2次産業の比率が高まってきており、近年では「しもつま鯨工業団地」の造成により、ELCジャパン本社を移転するなど、大手企業の進出が相次いでいます。主な農産物は、水稲、梨、白菜、メロン、スイカなど。特に、梨、メロンは積極的に海外輸出も行われています。工業は軽金属が主力です。

下妻地方広域シルバー人材センターの会員数は、 男性157名、女性82名、合計で239名(令和5年3 月31日現在)。就業率は81.6%となっています。

主な受託内容は、除草や剪定作業のほかに、粗大ごみの回収や障子や襖の張替えなど。





専門的な技術が 必要な作業も含 まれていますが、 技能講習会など を定期的に開催 し、会員一人ひ

とりがスキルの向上に努めています。 また、近年力を入れている事業が「シルバーお 助け隊」です。このプロジェクトでは、要支援者 や要介護者を対象に、日常生活のサポートを提供



する事業を行っていま す。ゴミ出しや部屋の 掃除、洗濯、日用品の 買い出しなど、日々の 生活に必要な様々な サービスをリーズナブ



ルな価格で提供する地域に密着した取り組みです。現在、核家族化の影響で、同居するご家族がいない高齢者のご家庭も増えています。そのような方々が快適に生活ができるよう、きめ細かなサポート活動を行っています。





課題としてあげられるのは会員の減少です。除草や剪定などの需要は増加しているものの、その全てに対応するのは難しい状況です。そのため市の広報紙に会員募集広告を掲載するほか、様々なイベントにブースを開設しビラ配りなどのPR活動も行っています。また、会員からのニーズが多い屋内での軽作業の開拓も推進。派遣などを含めて新規事業の獲得に力を入れています。

下妻地域広域シルバー人材センターは、地域社会の助け合いの精神を大切にしながら、美しく、暮らしやすいまちづくりに貢献しています。



就業活動しポート

地域の環境と安全を守るため 不法投棄物の撤去作業を実施。

(不法投棄ごみ撤去事業)

公益社団法人常陸太田市シルバー人材センター

常陸太田市シルバー人材センターでは、不法投棄された廃棄物の撤去活動を行っています。みなさんご存知の通り、常陸太田市は茨城県北部の山間部に位置する地域。交通量の少ない山道などは、不法投棄が少なくありません。美しい自然環境を維持することと合わせて、地域の安全を守るためにも廃棄物の撤去作業は重要になってきます。常陸太田市シルバー人材センターでは、常陸太田市環境政策課からの委託事業として、10年以上前からこのプロジェクトを推進しています。

不法投棄さ れた廃棄物の 撤去作業に当 たる生田目陽 **一さん(71** 歳)は「地域 の安全や環境 の美化に貢献 する仕事です。 公共の福祉を 考えると有意 義な仕事では ないでしょう か」と撤去作 業の必要性を 語ります。し かし、仕事内 容は簡単なも のではありま



ゴミの撤去作業1



ゴミの撤去作業2

せん。「週に2、3回は常陸太田市市内をパトロールしています。ペットボトルや空き缶などの投棄が多い幹線道路はもちろんですが、やはり山道は要注意です。最近は減少傾向にありますが、以前はタンスなどの家具や、冷蔵庫、洗濯機、パソコンなどの家電も多かったですね。最近多いのはタイヤや建設の廃材など、いわゆる産業廃棄物です。

環境に影響を 与えるんん、 が一火が点と 大りすになる ので、 れもあるので、



生田目陽一さん

パトロールを怠ることはできません」

作業は週2、3回。必ず二人以上で行動します。それでも、撤去作業には危険が伴います。「山道は傾斜が厳しく足元が悪いため注意が必要です。不法投棄されているポイントは、人目につきにくい崖が多いため、二人でも撤去作業がおぼつかない場合もあります。そんなときは市役所に連絡し応援に来てもらうか、それでも難しい場合は専門業者に依頼することもあります。何れにしても、自分の身を守ることが大切ですから」

警なな発「式クいいと察けいも大家をといれ事をは、とりなりでは、なりのでは、これでは、これでは、これでは、しらも、一ッらておがいた。



不法投棄が多い山道脇の崖

ります。あまりにも量が多いので警察に連絡して きていただくと、捨てられた本に住所や氏名が書 いてありました。しかし、捨てたのはその方では なく、不要品無料買い取りをうたう業者でした。 その業者は検挙されたのですが、本当に許せない 行為だと思います」

地域の環境と安全を守るため、生田目さんは今 日もパトロールを行っています。

江戸時代の古民家を 維持・管理する文化財の 守り手として活躍

(公共施設管理事業)

公益社団法人古河市シルバー人材センター



旧飛田家

古河市シル バー人材セン ターでは、古 河市役所生涯 学習課からの 委託事業とし て、古河総合

公園内の一角にある「民家園」の管理を行っています。現在従事しているのは、石田正明さん、静井重男さん、塚原博道さんの3名。平成11年から続く、大切な仕事の一つです。

古河総合公園は古河公方公園とも呼ばれ、桃林や茶畑などが広がる自然豊かな総合公園。古河桃まつりなどのイベント開催時には、埼玉、栃木、群馬など、県外からも多くの来園客が訪れます。

民家園とは江戸時代に建造された民家を保存し、 歴史的、文化的な資料として一般に公開するエリ ア。現在は旧飛田家、旧中山家の二棟が移築され 公開しています。



清掃作業

令和5年の4月から業務に当たっています。

「藁葺き屋根なので、毎朝の燻蒸作業もその一つです。この冬を越すために園内の落ち葉を大量に集めなければなりません」燻蒸(くんじょう)とは家の中で落ち葉を焚き、煙で屋根や柱を燻すこと。屋敷の屋根や柱にすすを付着させることで害虫などから部材を守り、家屋の耐用年数を高めることができます。「毎日行われる竃(かまど)での煮炊きが家を守ることにつながる。先人の知

恵には驚かされます」と静 井さんは言い

「江戸時代 の文化や歴史 に、それほど

ます。



静井重男さん

興味があったわけではありません。でもお客様の中には歴史・文化に造詣が深い方もいらっしゃる。それに触発されて、今はいろいろと勉強しています。お客様が話しかけてくださることもあるので、しっかりとした受け答えができるようになりたい

ですね(笑)|

旧飛田家は 国指定重要文 化財、旧中山 家は県指定文 化財です。文 化財を守る仕 事は、責任を



燻蒸を行う竃

感じると静井さんは言います。「古民家の管理は 日常の一部になっているので、常に意識している わけではありませんが、やはり大変な仕事だと自 覚しています。万が一のことがあっては国の損失 にもつながるわけですから」年に一度、会員も参 加しての防火訓練も行われています。

「やはりお客様をお迎えする施設ですから、きちんとした形でお出迎えできるよう環境の整備に取り組んでいます。八重桜が咲く4月下旬頃は民家園が最もきれいな季節。ぜひ一度、来園してください」と静井さんは笑顔を見せていました。





豊富な経験・知識・技能を地域や社会のために! ノエスティバル

県内のシルバー人材センターでは、10・11月の普及啓発促進月間に各地域のイベントに参加して、 活動内容の紹介や、会員の作品・地元特産品の販売等を行いました。今年は多くのイベントが開催さ れ、シルバー人材センターを多くの方々に知ってもらうことができました。





ヒタチエ中央口、 3階、5階連絡 通路別館入口



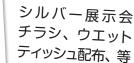
チラシ、ウエット テイッシュ配布、等

水戸市



シルバーへの入会勧 誘チラシ、ウエット ティッシュ配布、等

JR水戸駅南口 ペデストリアンデッキ





かしままつり・ みんなのひろば 2023



センター案内及び会員募 集チラシ、小物販売。お好 みたい焼き製造販売、等

鹿嶋市 SC (10/22)

阿見町 (10/22)



会員募集チラシの 配布、草人形及び 陶器展示販売、等



さわやかフェア 2023



祭りゆうき 2023

結城市 (10/28)



チラシ・生産品販売 (キウイ、落花生)等

安全就業推進について

◆ 令和 5 年度 安全就業推進大会開催

令和5年7月6日 (木)、セキショウ・ウェルビーイング福祉会館コミュニティホールにおいて、令和5年度安全就業推進大会を、シルバー人材センター及び当連合会から役職員ら計188名が出席し開催いたしました。今大会により、就業中の事故を無くし、健康管理に取り組む重要性を改めて認識し、安全・安心なシルバー事業の展開につながることを期待いたします。



開会宣言 加倉井安全就業対策推進委員長



あいさつ 綿抜連合会会長



表 彰 優秀賞 かすみがうら市シルバー人材センター 菅澤安全委員長



表 彰 優良賞 大子町シルバー人材センター 小室理事長



表 彰 優良賞 城里町シルバー人材センター 富永副理事長

今年度は「安全就業スローガン」の募集の年となり以下の作品が選考・表彰されました。



優秀賞 「事故防止 一人ひとりの 自覚から」 受賞者 菅谷 阡 会員 所 属 石岡地方広域シルバー人材センター



優良賞 「慣れた作業に落とし穴 初心に返って再確認」 受賞者 飯崎 一意 会員 所 属 阿見町シルバー人材センター



佳作賞 「慌てるな 慣れと過信に潜む事故」 受賞者 加瀬 茂 会員 所 属 神栖市シルバー人材センター

安全パトロールの実施

会員の皆様が健康で安全第一で就業できるよう意識を高めてもらうために、『安全パトロール』を実施しています。

日時	実施センター
令和5年10月3日(火)10:00から	潮来市シルバー人材センター/行方市シルバー人材センター
令和5年10月17日(火)10:00から	城里町シルバー人材センター/水戸市シルバー人材センター
令和5年10月18日(水)10:00から	桜川市シルバー人材センター/結城市シルバー人材センター
令和5年11月10日(金)10:00から	土浦市シルバー人材センター/かすみがうら市シルバー人材センター



働く意欲にあふれる 60歳以上の方の ご入会をお待ち しています!

原則として、お仕事を依頼したい市町村のシルバー 人材センターに、お申し込みいただきます。公益な 団体ですので、収益を目的にしていません。安心して 仕事をお任せいただけます。

お問合せ先

公益社団法人 茨城県シルバー人材センター連合会 TEL.029-244-4622 〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館3階 FAX.029-244-4633

又は、お近くのシルバー人材センターまで

シルバー人材センター	電話番号	シルバー人材センター	電話番号
水戸市シルバー人材センター	TEL 029-303-7272	那珂市シルバー人材センター	TEL 029-295-5741
日立市シルバー人材センター	TEL 0294-33-5586	筑西市シルバー人材センター	TEL 0296-25-4181
土浦市シルバー人材センター	TEL 029-824-8281	坂東市シルバー人材センター	TEL 0297-35-4811
古河市シルバー人材センター	TEL 0280-92-7018	稲敷市シルバー人材センター	TEL 029-892-3323
石岡地方広域シルバー人材センター	TEL 0299-23-3399	かすみがうら市シルバー人材センター	TEL 029-898-3130
結城市シルバー人材センター	TEL 0296-33-0222	桜川市シルバー人材センター	TEL 0296-54-6698
龍ケ崎市シルバー人材センター	TEL 0297-64-3641	神栖市シルバー人材センター	TEL 0299-92-7583
下妻地方広域シルバー人材センター	TEL 0296-44-3198	行方市シルバー人材センター	TEL 0299-80-6818
常総市シルバー人材センター	TEL 0297-38-5808	鉾田市シルバー人材センター	TEL 0291-32-4448
常陸太田市シルバー人材センター	TEL 0294-72-7700	つくばみらい市シルバー人材センター	TEL 0297-25-2102
高萩市シルバー人材センター	TEL 0293-23-7911	茨城町シルバー人材センター	TEL 029-292-8627
北茨城市シルバー人材センター	TEL 0293-42-3262	大洗町シルバー人材センター	TEL 029-264-8828
笠間市シルバー人材センター	TEL 0296-73-0373	東海村シルバー人材センター	TEL 029-282-3446
取手市シルバー人材センター	TEL 0297-72-9288	美浦村シルバー人材センター	TEL 029-886-0007
牛久市シルバー人材センター	TEL 029-871-1468	阿見町シルバー人材センター	TEL 029-888-2036
つくば市シルバー人材センター	TEL 029-879-5199	五霞町シルバー人材センター	TEL 0280-84-0208
ひたちなか市シルバー人材センター	TEL 029-273-4727	境町シルバー人材センター	TEL 0280-86-5415
鹿嶋市シルバー人材センター	TEL 0299-83-5577	利根町シルバー人材センター	TEL 0297-68-7896
潮来市シルバー人材センター	TEL 0299-63-1213	城里町シルバー人材センター	TEL 029-288-7013
守谷市シルバー人材センター	TEL 0297-48-8591	大子町シルバー人材センター	TEL 0295-79-1222
常陸大宮市シルバー人材センター	TEL 0295-53-5885	河内町シルバー人材センター	TEL 0297-84-5455

第14回チャリティゴルフ大会開催協賛金は「愛の募金」へ

11月9日(水)に、第14回チャリティゴルフ大 会が水戸レイクスC.C(城里町)で開催されました。 新型コロナウイルス感染症の影響でしばらく開催 できませんでしたが、4年ぶりの大会は天候に恵 まれ、各地のシルバー人材センターから32名の 参加者が腕を競い合い、親睦を深めることができ ました。優勝は阿見町シルバー人材センター会員、 宇津宗三さんでした。おめでとうございます。



当日のチャリティ募金 25.000円は、11月24 日に綿抜会長から茨城新 聞文化福祉事業団「愛の 募金 | に寄付をさせてい ただきました。ご協力あ りがとうございました。

会報「県シ連だより」編集委員メンバー

長 (公社)茨城県シルバー人材センター連合会 編集委員 (公社)石岡地方広域シルバー人材センター 編集委員 (公社)桜川市シルバー人材センター

編集委員 (公社)潮来市シルバー人材センター 編集委員 大子町シルバー人材センター

編集委員 (公社)茨城県シルバー人材センター連合会

総務課長 松本 敏明 業務係長森 昌幸 事務局次長 仁保 直樹 事務局長岸根 則夫 事務局長 深津 修司 事 栗原 秀子

公益社団法人 茨城県シルバー人材センター連合会

〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館3階 TEL:029-244-4622 FAX:029-244-4633 ホームページ http://www.ibaraki-silver.jp E-mail ibarakirengo@sjc.ne.jp